

特定非営利活動法人大阪マスターズ陸上競技連盟
2024年第44回理事会 議事概要

- 招集月日 2024年12月5日(木)
- 開催日時 2024年12月17日(火) 18時30分～20時40分
- 開催場所 難波市民学習センター 第3研修室
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階
- 理事総数 23人
- 出席者数 22人(本人出席16人、議決権行使者:6人) 出席監事 2人

会 長 椎木 茂久

副会長 山中 保博

専務理事 井指 康裕

常務理事 安達 芳恵、池上 健三、小西 宏之、坂下 勝正、柴田 秀治、並川 耕土、深尾 真美、藤田 幸久、三宅 要、村井 正信

理 事 糸原 一輝、大倉 節子、大野 鐘三、数野 哲也、熊取谷 信子
津田 光央、鶴川 久寿、早川 蒨一、升田 昭、森井 正和

監 事 中島 静一、福本 康史

(注) 氏名の下線は議決権行使者。 斜体字は欠席者。

■議案の経過要領および議案別議決の結果

第1号議案 2025年度会報発行計画・編集委員について

議長から2025年度の会報は3月上旬をめどに発行したい、内容面については、将来の会報のWeb化を見据えて、ホームページの活用や掲載記事の削減、縮小などの見直しを行い、肥大化を避け簡略化を目指したいとの編集方針が資料に基づいて説明がされた。また、例年通り会報と要項は別冊とし、編集責任者を会報；並川常務理事、要項；井指専務理事としたいとの説明があった。これに対し特に意見・要望等がなかったため、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第2号議案 2025年度通常総会と継続登録案内について

議長は、「2025年度大阪マスターズ年会費納入(会員登録ほか)等のご案内」および「総会開催通知」の資料に基づいて、大阪マスターズ普通会员の年会費について、日本マスターズ会員登録料の値上げや郵便料金や印刷費などの諸経費の増大に伴って5,000円から5,500円に改定したいとの提案がなされた。併せて、会費値上げは、総会の議決事項に該当するとの説明もなされた。また、2025年度通常総会は2月15日(土)に難波市民学習センターで開催することで案内を出状するとの説明がなされた。これに対し特に意見・要望等がなかったため、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第3号議案 2024年度事業の総括と2025年度の事業運営について

1. 2024年度の事業の総括について

議長から「2024年度事業報告(概況)」に基づき2024年度事業の総括について説明がなされ

た。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

2. 2025年度の事業運営について

(1) 事業日程（案）について

議長から「2025年度事業日程（案）」について説明があった。なお、第32回近畿マスターズ駅伝は2026年3月15日に奈良県大和郡山市で開催予定との追加報告があった。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(2) 審判編成について

①審判依頼のスケジュール

議長から「審判編成」に際しての「3-2-1」の法則の徹底についての説明がなされた。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

②審判依頼について

議長から審判依頼は、従来の往復ハガキによる依頼に加えて「グーグルフォーム」を活用した依頼をするための送受信テストなどの事前準備をすすめているとの現状報告があった。これに対し、陸協のようにQRコード付きのハガキ依頼も導入してはどうか。マスターズの場合、高齢の方もいるのでハガキ依頼も残す必要がある、などの意見が出された。議長が現状報告の内容について賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(3) 競技会のWeb申込みについて

議長から大阪マスターズ会員の「Web申込」は大阪マ主催の4競技会に加えて大阪マ会員対象の近畿マ選手権まで拡大するため、周知を徹底する。

大阪マスターズ会員以外については、JAAF-ID、住所、生年月日等が必要となるため別様式を作成して対応する。との説明がなされた。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(4) 研修会の実施時期の変更について

議長から、これまで8月に行ってきた大阪マスターズ研修会の開催時期を、酷暑を避けるため11月に変更したいとの提案がなされた。併せて「近畿および大阪マスターズ研修会」の申込受付は、会員、会員以外も全員「Web申込み受付」とするとの説明がなされた。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(5) 専門部会の活動について

議長から専門部会を開いたときは議事録または部会開催報告書の作成を徹底して欲しいとの説明がなされた。また、「情報処理」と「審判編成」担当は担当業務を明確にして業務にあたって欲しいとの要請がなされた。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(6) プログラム作成の手順の確認について

議長から「競技会プログラム作成の手順について」について説明がなされた。

これに対し事務局から年度末を目処に、手順が確認できる作業フロー（関連資料・帳票のイメージを含む）を作成しているとの補足説明がなされた。さらに、上陸ソフトのデータ入力以前に、現在、事務局で行なっている各種作業が出来る担当者をつくる必要があるとの見解が示された。井指専務理事からフローの完成を待って次の対応を検討したいと説明がなさ

れた。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(7) 競技会別競技種目の設定の検討について

議長から競技会の競技会別開催種目について、2024年度の参加者数実績の説明がなされ、上期、下期の種目バランス等を考慮する中で実施種目を検討したいとの提案がなされた。これを受けて次のような論議が交わされた。

- ・南部忠平杯の投てきは全種目実施。……2024年度は芝生養生のため砲丸投のみ実施
- ・南部忠平杯 100mの予選・決勝も引き続き実施。……100mの参加者は増加傾向にある。
- ・記録会（10/19）で 10000mを実施……2024年度は 6月29日実施で暑さ対策のため中止
- ・記録会の立五段跳は取り止め、300mH・400mHは 9/23の大阪マ陸上へ移す
- ・大阪マ陸上（9/23）は、下期で競歩種目を実施するため 3000mWを、また、300mH・400mHを記録会から移して実施し、立幅跳は公認種目でないため取り止め
- ・大阪マ陸上の 4×100mR と 4×400mR は継続実施。全日本マリレーの練習場所とする。
- ・大阪マ選手権は従来どおりの種目を実施

これらに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(8) 大阪マスターズユニフォームについて

議長から大阪マスターズの公式のユニフォーム（注文生産）はクレーマー・ジャパン製とし、引き続き販売を斡旋する。駅伝はユニフォームの指定がないので、アシックスの市販の黄色のユニフォームの着用を認めるとするもマスターズとして公式の斡旋はしないものとする。これに対し特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

(9) 総会について

議長から総会出欠通知兼委任状の様式を変更し、受取人払い方式のハガキに変更し、経費節減に資するようにしたとの説明がなされた。また、新規入会者について、申込者の居住地が大阪府以外の人の場合、大阪加入の理由を記入してもらいチェックすることとする。特に意見・要望等がなかったので、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

<その他事項>

1. 第31回近畿マスターズ駅伝への対応について

升田理事から第31回近畿マスターズ駅伝の要項・大阪マ選手団の編成等について報告された。参加選手一人当たりの参加料は2,000円（駅伝チーム参加料1,000円＋弁当代800円＋諸経費200円）とするとの報告もなされた。次いで大倉理事から3月1日の合同練習会・懇親会について説明がなされた。これらに対し特に意見・要望等がなく、報告は了承された。

2. 理事の担当の確認について

井指専務理事から組織図、専門委員会、分掌業務および理事の担当業務について資料を基に説明がなされた。これについて、椎木会長から、これらの資料を読み込んで疑問点や不明な点があれば提案して欲しい、また、専務理事からは、この資料は最終でなくこれからも修正が出てくるので、マスターズの事業活動の全体像をみて欲しいとの補足説明があった。これらに対し特に意見・要望等がなく、説明は了承された。

以上